



塩尻インターを降りてほどないところの山である。登山口には山の神神社や雄床山神社があり、下ったところには立派な構えの小野神社があった。長野県は山だらけであるのであるが、この近辺は農作地帯であってその中であって霧訪山は小高くなっているの神社が集まってきてしまうのかも知れない。登山口のたまたまの池の周りはベンチなどが整備されている。オキナグサが売り物らしく山頂には栽培している一角があるが、残念ながら今年もう終わったみたいであった。しかし山頂標識の傍には僅かに残っていた。花岡さんの説明ではおじいさんのように腰が曲がっているのが特徴なのでこの名前が付いたという。

この日のガイドは米原さんと花岡さんのジーサマコンビ。メンバーはバーサマ13人、ジーサマ8人で合計21人。ジーサマの中にはSキノさんとKワノさんがいる、お互いに“最近はこういった楽な山ばかりです”と挨拶を交わした。歩行3時間程度であるが、それでも私は息があがるときがあった。

まだつつじは満開であり4種類くらいが咲き誇っていた。ヒカゲスミレなど5種類くらいのスミレと頂上近辺には名残のカタクリもまだ残っていた。

